

# 日本のオペラ作品をつくるオペラ創作人材育成事業 第Ⅱ期(2019年度)ワークショップ

2018年度末に成果発表として開催した公開試演会で披露した4作品の作曲家4名・  
台本作家4名計8名が2019年度2年目の事業に参加した。

## 第1回 5月24日(金)

【講師】ゲスト講師:佐藤 信氏(演出家・劇作家)

座・高円寺(杉並芸術会館)芸術監督で、劇作の他にオペラ・能楽・日本舞踊・レビューなど幅広い分野の演出に携わる佐藤氏から、自身の経験や考えに基づくオペラの定義や「観客」「日本の劇場芸術」の視点でのオペラの創作について、育成対象者へ情報の提供を行った。

ゲスト講師の佐藤氏も交えて各作曲家・台本作家より、台本の初稿を基に発表および討議を行った。

## 第2回 6月6日(木)

<公開ワークショップ>

【パネリスト】池辺 晋一郎、李 建鏞、齊藤 理恵子

■ワークショップ『どんなオペラを目指すのか ~創作中の各作品をめぐって~』:

2018年度3月に開催された試演会の映像を上映後、各作曲家・台本作家より、試演会で受けた審査員からの指摘や歌唱した歌手の感想等をどのように、創作中の作品へ反映させたかを説明した。また、今後の作品の展開も含めて発表した後、李氏および池辺氏、齊藤氏を交えてディスカッションした。



■公開対談『母語でオペラを創作する意義と課題』:

メインファシリテーター池辺氏とアドバイザー李氏の対談が行われた。オペラは、音楽と詩と演劇の3つのジャンルの結合であること、母語でオペラを創作する際は、文化と伝統を大切にしたい等、各氏がオペラの創作について、想いや考えを語った。その後、育成対象者との質疑応答を行い、一般聴講者に、本事業への関心と理解を深める貴重な機会となった。



## 第3回 7月2日(火)

【講師】ゲスト講師:清水 寛二(能役者)

■講義:

古典能だけでなく、現代劇やオペラ作品への出演等に活動の幅を広げている清水氏より、美術館の展示作品を広報するために、自身が演じた「能」の映像が紹介された。自身の経験を中心に、新たな挑戦への難しさや「能を創ること」と「オペラを創ること」の共通点について、育成対象者へ情報の提供を行った。



■育成対象者によるプレゼンテーション ※

ゲスト講師の清水氏を交えて各作曲家・台本作家より、前回のワークショップで受けた指摘やコメントを反映させた台本の第2稿を基に発表および討議を行った。

## 第4回 8月27日(火)

【講師】ゲスト講師:佐藤 信(演出家・劇作家)

台本の第3稿を基に作品の進捗や作曲イメージも踏まえ、各作曲家・台本作家より発表および討議を行った。その後、佐藤氏より、台本第3稿を読んだ感想や育成対象者の発表の印象を伝えた。育成対象者からの「時間の推移をどう見せたらいいか」「脚本における“詩”と“対話”の配分や関係をどう意識しているか」等の質問に、佐藤氏が自身の経験や助言を含め回答した。



※

## 第5回 9月27日(金)

【講師】池辺 晋一郎

各作曲家は、作曲スコアの初稿を基に曲のイメージや構成案をピアノや音源を使用しプレゼンテーションを行った。台本作家は、台本第4稿を基に、時間の経過を観客にどう見せるかも含めて発表した。その後、池辺氏より育成対象者へ、オペラの中の演劇的要素の表現の仕方や台本に登場する登場人物の性格の描写等について助言があった。



## 第6回 10月18日(金)

【講師】郡 愛子、仲田 淳也

(実演者) ソプラノ: 芝野 遥香 長島 由佳 メゾソプラノ: 佐藤 みほ 丹呉 由利子  
テノール: 加藤 康之 曾我 雄一 バス: 普久原 武学  
ピアノ: 高橋 裕子

『表現者の役割について』をテーマに各作品の部分演奏を交え、歌手が日本語を完璧に表現する実践的な方法などを作曲家、台本作家と共有した。実際に作品を表現する歌手から「各作品の登場人物の心情はどんなのだとイメージしたらよいか」「テンポを少し遅くしてもらえると歌手としても歌いやすいし、お芝居もしやすい」と具体的な質問や意見があり、今後の創作活動に役立つ情報を得ることができた。



※

## 第7回 2020年1月24日(金)

【講師】池辺 晋一郎

各作曲家・台本作家は、作曲スコア初稿から追加・修正された作曲箇所および作曲の修正により、手直しされた台本を基にプレゼンテーションを行った。池辺氏が様々なオペラを創作することで培った経験からオペラ創作における場面設定の方法やエンタテインメントとしてオペラをとらえることの重要性等を情報提供した。また、作品の構図をしっかりと楽譜や文章で表現し、歌手や指揮者に伝わるように工夫することが重要だと助言があった。



## 第8回 2月14日(金)

【講師】池辺 晋一郎

指揮: 芳賀 大和 平野 桂子 ピアノ: 石渡 洸貴 上路 実早生  
ソプラノ: 芝野 遥香 長島 由佳 メゾソプラノ: 佐藤 みほ 丹呉 由利子  
テノール: 曾我 雄一 中井 亮一 バス: 普久原 武学

公開試演会で試演する創作中のオペラ作品の部分演奏を行った。実際に作品を表現する指揮者や歌手から「楽譜の旋律をどのようなイメージで表現してほしいか」「場面設定はどのように考えているか」等多数の質問が作曲家・台本作家に投げかけられた。活発な意見交換を行ったことで、指揮者・歌手・ピアニストが各作品をより深く理解することができ、創作者は、自身の作品の表現をどのように工夫すれば、観客により伝わるかを考える貴重な機会となった。



※

## 第9回 2月18日(火) ~27(木)

試演会リハーサルへの参加

## 第10回 2月28日(金)

公開試演会

※以外撮影: 長澤 直子